

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

ソキウスコンサルティング株式会社

②施設・事業所情報

名称：依知保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：早川知子 園長	定員（利用人数）：120（85）名	
所在地：243-0804 神奈川県厚木市関口390		
TEL：046-245-0531	ホームページ： https://wakabakai.hp.gogo.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 昭和37年10月		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人若葉会		
職員数	常勤職員： 12 名 非常勤職員 9 名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	（保育士） 11名	9名
	（事務職員） 1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室(6)・休憩室(1)・事務室(医務室含む)(1)・調理室(1)・沐浴室(1)・調乳室(1)	冷暖房・固定遊具・プール・避難用スロープ・ステージ・AED・防犯ブザー

③理念・基本方針

<p><保育理念> 子どもは豊かに伸びていく可能性を秘めている。その子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。</p> <p><保育目標></p> <ul style="list-style-type: none">・健康で明るい子ども・よくあそべる子ども・心のやさしい子ども <p><保育方針></p> <ul style="list-style-type: none">・自他の生命を尊重し、自ら安全に行動できる能力を身につける。・心身ともに健康で忍耐力のある身体を作る。・自然や社会を愛し、友達を大切にし、思いやりのある豊かな心を育てる。・人とのかかわりの中で、自主、協調の態度を養い、何事も最後までやり遂げる態度を養う。・様々な体験を通して、言葉への興味や関心を育て、創造性、道徳性の芽生えを培う。

④施設・事業所の特徴的な取組

依知保育園は、小田急線本厚木駅又は、海老名駅からバスで20分程の場所にある保育園です。近隣には、広大な畑や大小様々な公園や神社があり自然に恵まれた環境

の中で「健康で明るい子ども・よくあそべる子ども・心のやさしい子ども」を保育目標に、集団生活の中で協調性や思考力、創造性を養いながら円満な生活態度の育成に努めています。

通年はだし保育を行い、毎日体操や乾布摩擦も行っています。雨天時以外は戸外に出かけ、伸び伸びと走り回ったりしながら、季節の移り変わりを肌で感じています。また、泥んこ遊びやプール遊び等、夏ならではの遊びを思い切り楽しんだり、4・5歳児は英語に親しみを持てるように英会話教室を取り入れています。絵本との触れ合いをととても大切にしており毎日1、2冊、各年齢に合わせて読み聞かせを行っています。また、子ども達が自由に絵本を手にとれるように各クラスにも用意しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年6月1日（契約日）～ 令和6年3月1日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（令和3年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) 地域での様々な環境を生かした保育を行っています。

園周辺は畑や公園が多く、自然から感じ取れる事象などを通し五感の育みを大切に、戸外活動を積極的に行っています。公園内の草花や虫を観察するなど、季節の移り変わりを楽しみながら自然に触れ、心身ともに健康的に過ごせるようにしています。また、散歩中は地域の方々と挨拶を交わし、交流を深めています。

2) 職員のチームワークが良く保育や保護者対応に活かされています。

勤続年数の長い職員が多く、各打ち合わせでの話し合い、内部、外部研修での学びなどをお互い共有し、職員は密にコミュニケーションをとり保育を行っています。話し合いでは積極的に意見を出し、課題に対し、様々な案を実践し、次につなげるようにしています。チームワークの良さが保護者対応にも繋がり、保護者とのコミュニケーションの高さは、アンケートでも満足度の高い結果となっています。

3) おいしく楽しい食事提供に取り組んでいます。

栄養士は、子どもたちの食事の様子を観察し、子どもが好きなメニューや苦手なメニューを把握しています。食材は旬なものを使用し、より食べやすく、おいしくなるよう調理法を日々、検討しています。地方の郷土料理なども月1回メニューに取り入れ、食に関心が持てるように努めています。また、全クラスのリクエスト食にも対応し食事が楽しくなる工夫がされています。

4) 駐車場スペースの改善を計画しています。

今回実施した保護者アンケートで、保育園の駐車場が子どもを送迎する際、狭く停めにくい為、停めやすい様に改善策を望む声がありました。現在は、速やかな改善と対応策を模索し、保護者が駐車しやすい様に可能な限りの修繕を実施する予定です。保護者からの要望に対し解決に向けた対応の早さと実践を高く評価します。

5) 災害時への地域支援・連携への取り組みが期待されます。

防災では、消防署や警察とは連携できていますが、地元自治会との防災訓練や地域との防災対策についての連携が図られていない為、今後、多様な機関と連携して、地域コミュニティの活性化や防災活動等への貢献について検討を具体化し、実現していくことを期待します。

◇前回受審より改善された点

1) 業務の標準化のためのマニュアルが、整備されていないものがありましたが、現在は職員間の情報共有のもと、園の基本姿勢、手順や注意事項などが明文化され、必要なマニュアルの体制が整備されています。

2) 職員参画のもとでのサービスの質の向上への組織的・計画的な取り組みが反映されていませんでしたが現在は、職員が進捗状況や結果を定期的に評価・共有し、次の対策に繋げるようにしています。その一つとして、毎年11月頃に、保護者アンケートを行う中で、保護者の意見を把握し、職員会議で積極的に対策を検討し、保育園全体で課題に向けた取り組みを行っています。このことから、課題に向けた取り組みの実践を高く評価します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

令和3年度に初めて第三者評価を受審し、約2年が経ち2回目の受審となりました。課題の解決ができているのか確認できた良い機会となりました。

また、新たな課題もみつき今後職員と共に話し合いを進め改善に向けて努力していこうと思います。

保護者の皆様にもお忙しい中、アンケートのご協力をいただきありがとうございました。保護者の皆様と保育園がより友好的な関係が築けるようコミュニケーションを大切にし、未来を担う子ども達が伸び伸びと育つための協同関係の強化に努め、子ども達・保護者の気持ちに寄り添い、安心安全の保育を心がけていきたいと思っております。

有意義な機会を得られたことに感謝いたします。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり